

II 特別連載 II

科学技術振興機構 『さくらサイエンスプログラム』友情と感激

第331回

三重県の活動報告



永井 美来 (三重県雇用経済部 国際戦略課主事)

三重県は、科学技術振興機構(JST)からサイエンスプログラムにより、今年9月12日〜18日の7日間の日程で、友好提携先であるパラオ共和国から、太平洋研究アカデミーより研究者1名、パラオ短期大学より学生5名及び研究者1名、パラオ高校より高校生5名及び教員1名、コロール州政府より職員1名、農業・漁業・環境省農業局より職員1名の計15名を招へいし、三重県内の農業研究施設や農業高校、大学を訪問し、農業分野の研修及び交流を実施した。



三重県副知事表敬訪問での記念撮影(1日目)

プログラムスケジュール	1日目	来日、三重県副知事表敬訪問
	2日目	大学生以上のグループと高校生グループに分かれて研修 【大学生以上】県農業改良普及センター 【高校生】県立四日市農芸高等学校
	3日目	大学生以上のグループと高校生グループに分かれて研修 【大学生以上】三重県農業研究所 【高校生】県立久居農林高等学校
	4日目	農業研究所伊賀研究室、伊賀流忍者博物館
	5日目	三重大学生物資源学部附帯施設農場 三重大学大学院生物資源学研究所
	6日目	津市内農産物直売所
	7日目	帰国

●プログラムの概要

1日目、中部国際空港に到着したのち、午後から三重県庁を訪問し、廣田恵子三重県副知事に表敬訪問を行った。

2日目は、大学生以上のグループと高校生のグループに分かれ、それぞれ研修を受けた。【大学生以上グループ】JA多気郡において県農業改良普及センターより普及事業・産地育成の概要について説明を受けた後に実際の作業を見学。農園や圃場の視察を行った。

【高校生グループ】県立四日市農芸高等学校を訪れ、実習に参加して生徒たちと一緒に農作業に取り組み、四日市農芸高校で行われている農業学習について学んだ。また、お互いの学校について紹介しあったり、収穫された野菜を使ったサラダを一緒に試食したりして交流を深めた。

3日目は、2日目と同様に二つのグループに分かれて研修を受けた。

【大学生以上グループ】県の農業研究所、農業大学校を訪問し、三重県の先端農業研究についての講義を受けたほか、植物工場や野菜栽培圃場や農作業機械の見学を行った。

【高校生グループ】午前は県立久居農林高等学校を訪れ、農場の見学、梨やブドウの収穫



忍者ショー終了後、キャストの皆さんと(4日目)



四日市高校の実習に参加(2日目)



修了証を受け取る研修生(6日目)



三重県農業研究所で(3日目)

意識を高める良いきっかけになったとの声があり、双方にとって実りのあるものとなり、三重県としても、パラオと友好を深めるうえで、非常に有意義な交流となったと考えている。三重県では、今回の招へいを踏まえ、農業アドバイザーを今年度中にパラオに派遣することなどを検討しており、今後もパラオ共和国とさらなる交流を深めていく。

環境を守り、知識を共有することがいかに大切かを教えてくれた」「この交流プログラムは、私に農業をもっと学び、好きになることを後押ししてくれた」「私にとって最高の経験になった。私はもっと勉強をしたくなった。私にこのプログラムに参加するチャンスを得たことに心から感謝する」などの感想があり、訪問した農業大学校や三重大学への留学に関する希望の声も寄せられた。受入機関からも、国際

体験を行った。午後からは農園を視察し、精米工場などを見学した。急遽、コンバインの乗車体験をさせてもらうこととなり、生徒たちも貴重な経験に喜んでいった。

4日目からは、全員が同じ行程で研修を受けた。午前中は、農業研究所伊賀研究室で、ぶどうや水稲の栽培研究に関する講義と栽培研究圃場の視察を行った。さらに、実際にぶどうの試食をさせてもらった。研修生のほとんどにとって初めてのぶどうだったが、「とてもおいしい」と好評だった。

午後は、日本文化体験として、「伊賀流忍者博物館」を訪問。全員が忍者衣装に着替え、三重県に歴史のある「忍者」について学び、日本と三重県の文化への理解を深めた。中でも、博物館の中で見学した忍者ショーは大変な盛り上がりを見せた。

5日目は、三重大学を訪問した。三島隆准教授より「食品加工」について、塚田森生教授より「ミバエ防除」について、王秀倫教授より「農業機械」についての講義を受けたほか、附帯施設農場の見学、生物資源学研究科の学生との意見交換会を行った。その後、学生と一緒に、調理実習交流会を開催。あまり

野菜を食べる習慣のないパラオの学生らに野菜に親しんでもらうため、三重県産の野菜をふだんに使用し、カレーとサラダを作った。三重県の学生、パラオの研修生みんなで協力し、どの班もおいしくできた。

6日目は、三重県内の農産物直売所「朝津味」を訪れ、三重県で実際にどのように野菜が販売されているのかを見学した。その後、修了証交付式を実施し、参加した研修生一名に国際戦略課長より修了証が手渡された。7日目には、関西国際空港より、パラオへと帰国した。

### ●プログラムの成果と今後の展望

プログラムを終え、参加者、受入機関の双方から、多くの好評の声を頂戴した。

研修終了後のアンケートでは、参加者全員から、今回の研修の満足度は「非常に高い」「非常に満足」、再度の訪日并希望するかという問いには「強く希望する」と回答を得たほか、「今回の研修は、大学生、高校生、教師、研究員すべてにとって非常に価値のある経験となった」「さくらサイエンスプログラムは私に、自分の食べるものを自分で育て、